

社会保障を支える人の賃金を国で支え、積極的な内需拡大で、好循環経済を！

①好循環経済へのスタートの資金は、一旦、国債で賄う

公正な税制改革による増収にはタイムラグが伴う。そこで先に②から④を好循環させることで、⑤増収を図り、⑦国債削減とする(なお、家庭の借金と国債発行とは本質的に異なる)。武器を買うより予算は暮しに回す。

②社会保障・福祉(保育、医療、介護、年金、住宅)、教育、研究開発分野への国の支出を抜本的に増やす

・生活密着型インフラ、防災の公共投資、再生可能エネルギー促進等の未来へ繋がる財政投資を行う



⑦国債発行の削減による財政健全化

①から⑦までは、多少タイムラグがある。

⑥くらし安心社会の構築と負担軽減

- ・社会保障、福祉などセイフティネットを拡充
- ・教育政策の充実
- ・授業料引下げ・減免、給付型奨学金制度の拡充、大学等研究費の大幅増

社会保障の財源は、払えない人にも一様に負担を求める保険方式に、応能負担等の改善を行い、特に介護は公費負担方式へ移行する。



⑤景気拡大に伴う増収に加え、公平税制改革で増収を図る

景気回復に合わせて、法人税率、所得税率を以前の率に戻す。金融所得は総合課税とする。逆進性が強い消費税には頼らない。

利権がらみの巨大開発中心のアベノミクスと異なり、社会保障等で働く人の生活を改善すれば、お金は内需に回る。

内需が拡大すれば、企業の投資も回り、好循環となる。

内需を冷やす消費税増税は逆効果である。



③働く人の雇用の安定と改善、格差の是正

- ・賃金底上げ、労働環境改善

④内需拡大による景気拡大

- ・地域経済振興
- ・生活関連インフラの拡充